

独立役員届出書

1. 基本情報

会社名	株式会社フィックススターズ		コード	3687
提出日	2025/12/4		異動（予定）日	2025/12/17
独立役員届出書の提出理由	定時株主総会において社外役員の選任議案が付議されるため			
<input checked="" type="checkbox"/> 独立役員の資格を充たす者を全て独立役員に指定している（※1）				

2. 独立役員・社外役員の独立性に関する事項

番号	氏名	社外取締役／社外監査役	独立役員	役員の属性（※2・3）												異動内容	本人の同意
				a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	該当なし	
1	石井 真	社外取締役	○													○	有
2	樺島 弘明	社外取締役	○													○	有
3	榎本 ゆき乃	社外取締役	○													○	有
4	鉢嶺 登	社外取締役	○													○	有
5	マイケル・クスマノ	社外取締役	○													○	新任 有
6	泉谷 勇造	社外監査役	○													○	有
7	齊藤 悟志	社外監査役	○													○	有
8	山添 千加美	社外監査役	○													○	新任 有

3. 独立役員の属性・選任理由の説明

番号	該当状況についての説明（※4）	選任の理由（※5）
1	該当なし	石井真氏は、半導体業界における長年の経験による豊富な知識を有しており、また経営者としての経験と見識を有しております。これらの経験と見識に基づく客観的な視点から、当社の監督及び経営全般の助言をしていただけるものと判断したため、社外取締役として選任しております。また、東京証券取引所が定める一般株主と利益相反の生じるおそれがあるとされる事項に該当しておらず、独立性を有しています。
2	該当なし	樺島弘明氏は、上場企業経営者としての経験と見識を有しております。当社の持続的な企業価値向上実現のため、取締役会において、特に当社の事業及び経営全般について、客観的な立場からの助言や提言をしていただけるものと判断したため、社外取締役として選任しております。また、東京証券取引所が定める一般株主と利益相反の生じるおそれがあるとされる事項に該当しておらず、独立性を有しています。
3	該当なし	榎本ゆき乃氏は、上場企業経営者としての豊富な経験と見識を有しております。当社の持続的な企業価値向上実現のため、取締役会において、特に当社の事業及び経営全般について、客観的な立場からの助言や提言をしていただけるものと判断したため、社外取締役として選任しております。また、東京証券取引所が定める一般株主と利益相反の生じるおそれがあるとされる事項に該当しておらず、独立性を有しています。
4	該当なし	鉢嶺登氏は、上場企業経営者としての豊富な経験と見識を有しております。当社の持続的な企業価値向上実現のため、取締役会において、特に当社の事業及び経営全般について、客観的な立場からの助言や提言をしていただけるものと判断したため、社外取締役として選任しております。また、東京証券取引所が定める一般株主と利益相反の生じるおそれがあるとされる事項に該当しておらず、独立性を有しています。
5	該当なし	マイケル・クスマノ氏は、ビジネス戦略やテクノロジー・マネジメントに関する世界的権威として深い知識を有しております。当社の事業及び経営全般について、ビジネス戦略やテクノロジー・マネジメントに関する専門的な視点から、客観的な立場からの助言や提言をしていただけるものと判断したため、社外取締役として選任しております。また、東京証券取引所が定める一般株主と利益相反の生じるおそれがあるとされる事項に該当しておらず、独立性を有しています。
6	該当なし	泉谷勇造氏は、金融機関における長年の経験により、国際取引、財務及び与信管理等に関する豊富な知識を有し、また監査役の経験により会社経営と監督に卓越した知識を有しております。かつて米国CPAの資格も有することから、常勤の社外監査役として選任しております。また、東京証券取引所が定める一般株主と利益相反の生じるおそれがあるとされる事項に該当しておらず、独立性を有しています。
7	該当なし	齊藤悟志氏は、公認会計士及び中小企業診断士の資格を有し、経営、財務及び会計分野における高い専門性を有するとともに、事業会社において経営管理や財務戦略の立案・遂行に携わるなど、経営実務にも精通していることから、社外監査役として選任しております。また、東京証券取引所が定める一般株主と利益相反の生じるおそれがあるとされる事項に該当しておらず、独立性を有しています。
8	該当なし	山添千加美氏は、会社経営に直接関与した経験はありませんが、公認会計士として会計・監査分野における高い専門性を有するとともに、複数の上場会社で社外監査役を務め、ガバナンスや内部統制の実効性確保に関する豊富な実務経験を有していることから、社外監査役として選任しております。また、東京証券取引所が定める一般株主と利益相反の生じるおそれがあるとされる事項に該当しておらず、独立性を有しています。

4. 据足説明

※1 社外役員のうち、独立役員の資格を充たす者の全員について、独立役員として届け出ている場合には、チェックボックスをチェックしてください。

※2 役員の属性についてのチェック項目

- a. 上場会社又はその子会社の業務執行者
- b. 上場会社又はその子会社の非業務執行取締役又は会計参与（社外監査役の場合）
- c. 上場会社の親会社の業務執行者又は非業務執行取締役
- d. 上場会社の親会社の監査役（社外監査役の場合）
- e. 上場会社の兄弟会社の業務執行者
- f. 上場会社を主要な取引先とする者又はその業務執行者
- g. 上場会社の主要な取引先又はその業務執行者
- h. 上場会社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家
- i. 上場会社の主要株主（当該主要株主が法人である場合には、当該法人の業務執行者）
- j. 上場会社の取引先（f. g. 及びh. のいずれにも該当しないもの）の業務執行者（本人のみ）
- k. 社外役員の相互就任の関係にある先の業務執行者（本人のみ）
- l. 上場会社が寄附を行っている先の業務執行者（本人のみ）

以上の～lの各項目の表記は、取引所の規則に規定する項目の文言を省略して記載しているものであることにご留意ください。

※3 本人が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「○」、「過去」に該当している場合は「△」を表示してください。
近親者が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「●」、「過去」に該当している場合は「▲」を表示してください。

※4 a～lのいずれかに該当している場合には、その旨（概要）を記載してください。

※5 独立役員の選任理由を記載してください。